

(Ⅱ) 東通中学校の経営方針

校 訓
「日進」 「感謝」

教 育 目 標

知性を磨き、豊かな心を育み、自主自立を目指す生徒の育成

努 力 目 標

進んで学習し、課題解決できる生徒
互いに思いやり、明るく生活できる生徒
心身を鍛え、粘り強く取り組める生徒

1 学校経営の基本姿勢

私たちが身の回りにある木々や草花を育てる時には、その植物の種類や性質によって、水の与え方・肥料の与え方・日光の当て方など、さまざまに方法を変えて育てるのが普通である。学校教育もそれと全く同じではないかととらえている。

学校の主役は、言うまでもなく生徒一人一人である。したがって、生徒たちが毎日楽しさを感じ、生き生きとした学校生活を送れるよう、生徒一人一人に応じたきめ細かな指導や支援を常に心掛けるとともに、その生徒が持っている良さや可能性を更に伸ばしてやりたい。そして、今後ますます変化していくであろう国際化・情報化社会の中で、生徒一人一人がたくましく生きていける力を十分身につけさせたい。

そのために、東通村の教育課題、29集落の学区の状況、生徒の実態、保護者の学校教育への期待、本校の学校課題を踏まえ、統合4年目にふさわしい知・徳・体のバランスのとれた特色ある教育活動を展開する。

2 学校経営の方針

- (1) 授業・行事・PTA活動等、東通小との連携・交流を強化するとともに、効果的な連携の在り方について研究を深め、村が掲げる東通学園構想に基づき、義務教育9年間を見通した小中一貫教育の充実に努める。
- (2) 教育活動の基盤となる温かい人間関係づくりに努め、生き生きと学校生活を送れるよう、生徒一人一人に応じたきめ細かな生徒指導を推進する。
- (3) 少人数指導の良さを最大限に生かし、基礎的・基本的学習内容をしっかり身につけさせるよう授業改善を図るとともに、生徒一人一人の確かな学力の定着に努める。
- (4) 学校における教育活動や生徒への指導に関して説明責任を果たし、保護者や地域社会から信頼される学校づくりを推進する。
- (5) 教員としての専門性や資質を高めるために、計画的・実践的な研修に努める。
- (6) 職員相互の共通意識・協同歩調の精神を大切にするとともに、職員一人一人の危機管理意識の高揚を図る。

3 学校経営の重点

(1) 授業の充実

- 指導のねらいを明確にし、指導と評価の一体化を図りながら基礎的・基本的内容の定着に努める。
- 少人数学級の良さを最大限に生かし、「わかる授業」「主体的に学ぶ授業」の展開を工夫するよう努める。
- 数学・英語のTT学習、日進タイムでの習熟度別学習を通して、一人一人の能力に応じた指導に努める。
- 教科指導において、コンピュータやプラズマ電子情報ボード等の情報機器の効果的な活用を図り、生徒の情報収集能力・情報選択能力・情報活用能力の育成に努める。
- 自己表現力、コミュニケーション能力、情報活用能力を育成するために、各教科・各領域とも場の設定の工夫と総合的な学習の時間(東通科)との関連を図る。
- 標準学力検査や学習状況調査等から、各教科毎に生徒の学力の実態を分析・把握し、達成されていない学習内容については適切な手だてを講じるよう努める。
- 今年度、青森県学校保健・安全・給食研究大会が開催されることから、特に保健体育の授業においては、保健・安全・給食と関連させた授業を充実させるよう努める。

(2) 生徒指導の充実

- 生徒と教師、生徒相互の温かい人間関係づくりに努める。
- 生徒への愛情と保護者に対して誠意をもって対応する意味からも、「足で稼ぐ生徒指導」、「愛情に裏打ちされた生徒指導」を推進する。
- 定期教育相談やチャンス相談の充実を図り、受容的・共感的な生徒理解に努める。
- 指導方針や実践内容を明確にするとともに、各学年との情報交換を密にし、協働指導体制を確立する。
- 発達段階に応じて各学年のめざす生徒像を描き、指導の重点化を図る。
- 学校不適応や発達障害の生徒への対応については、校内における情報交換を密にし、保護者だけでなく、事例によっては関係機関やスクールカウンセラーとも連携しながら、役割分担を明確にし、より緻密で温かい対応に努める。

(3) 道徳教育の充実

- 教科、特別活動、総合的な学習の時間との関連を重視し、学校の教育活動全体を通じて道徳教育の推進に努める。
- 道徳の時間で培われた道徳性が、具体的に実践されるような活動の場を意図的・計画的に設定するよう努める。
- 道徳的価値の自覚が一層図られるよう体験活動等を生かした多様な指導法の工夫に努める。
- 教師と生徒、生徒相互の信頼関係を確立し、温かな交流を通して道徳的心情や実践への意欲を高めていけるように努める。
- 道徳教育推進教師の役割を明確にし、機能的な協力体制を確立するとともに、校内における「道徳教育推進委員会」を充実させ、組織的・計画的に道徳教育を推進する。
- 道徳の年間指導計画を見直すとともに、特に今年度は24の内容項目を精査し、保健・安全・給食と関連させた授業実践に努める。

(4) 特別活動の充実及びキャリア教育の推進

- 活動内容ごとに目標を明確にし、生徒の発想や考えを引き出し・認めてやり、自主的・実践的な活動になるよう、きめ細かな指導の充実に努める。
- 「話し合い活動」の充実に向け、議題選定までの方法や話し合いの進め方・ルールを生徒に浸透させるとともに、学校行事への取り組みだけでなく、日常から学級や学校の諸問題を取り上げ、自ら解決させる場を意図的に設定するよう努める。
- 学級活動の年間指導計画を見直すとともに、特に今年度は保健・安全・給食と関連させた学級活動の実践に努める。
- 一人一人の適性・能力等をよく理解し、継続的な進路指導を通して生徒が主体的に進路選択できるよう、各学年の発達段階に応じた進路相談の充実に努める。
- 「職業体験学習」を継続実施し、キャリア教育の視点に立って、望ましい勤労観・職業観を育てるとともに、将来の生き方について考えさせ、現在の生活改善への意欲や意識の向上を図る。
- 「生きる力」の育成のための取り組みの一環として、「朝読書」の継続実施とその充実に努める。

(5) 健康・安全教育の充実

- 運動の喜びや楽しさを味わわせるとともに、精神力・忍耐力・体力の向上を図るよう体育活動の充実に努める。
- 日常の健康観察や健康診断をもとに、生徒の心身の健康状態を適切に把握し、家庭との連携を密にしながら個に応じた健康指導に努める。
- 危機管理意識を強く持ち、登・下校時の指導も含め日常の安全指導及び校内外の安全点検を適切に行うとともに、安全確保と救急体制の確立に努める。
- 保健体育、家庭科、道徳、特別活動との関連を明確にするとともに、今日的課題である「心」・「命」・「性」・「食」の問題への積極的な取り組みと効果的な指導に努める。
- 東通村学校保健会の組織の中に位置づけられた「東通学園学校保健委員会」の活動を通して、生徒・家庭・学校・地域が一体となり、学校医や外部の専門家の指導・助言を仰ぎながら健康づくりの輪を広げ、継続した実践に努める。

(6) 総合的な学習の時間の充実

- 趣旨やねらいに立ち返り、学校としてめざす生徒像、育てたい資質や能力を明確にするとともに、生徒の変容を確かめることができるような評価の工夫に努める。
- 東通村の地域素材を中心に課題意識を持たせ、個人ないしはグループでの探究的な学習を通し、さまざま知識・技能を習得させながら多面的な見方や考え方を養い、「東通科」の学習の工夫に努める。
- 「職場体験学習」など体験的な学習や課題解決的な学習をバランスよく取り入れたカリキュラムにするとともに、効果的な学習形態の工夫に努める。
- 地域の人材の積極的・効果的な活用を図る。
- フィールドワーク・職業体験学習等を通し、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努めるとともに、各教科・道徳・特別活動との関連を図った環境教育を推進する。

(7) 国際化、情報化に対応する教育の推進

- 郷土に関心を持ち、愛着と誇りを涵養する教育を推進する。
- A L Tの効果的な活用を図り、英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を培う。
- 学習指導におけるコンピュータ等の情報機器の効果的な活用を図り、情報収集能力・情報選択能力・情報活用能力の育成に努める。

(8) 特別支援教育の充実

- 全校体制のもとで特別支援学級の運営に努めるとともに、教育的ニーズに応じた支援体制の確立に努める。
- 校内特別支援教育推進委員会を機能させるために、定期的に各教科担任等との情報交換会を実施する。
- 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒についても意図的・組織的な支援体制の確立を図る。

(9) 研修の充実

- 学校課題を明確にし、研修内容と授業実践の関連を図りながら学校課題の解決に努める。
- 研修の日常化を図り、一つ一つの実践を通して、生徒の変容を確認しながら研究仮説の検証に努め、成果と課題を明確にする。
- 授業力の向上のために、校内研修計画に沿って授業実践に積極的に取り組み、生徒の学力向上に努める。

(10) 家庭・地域・関係機関との連携

- 常日頃から保護者との連携を密にし、生徒一人一人の良さを学年・学級経営に反映させるよう努める。
- 参観日や体育祭・文化祭などの行事、P T A活動、地区懇談会等、さまざまな機会を通して、保護者や地域の人たちと積極的に関わり、協力体制を確立する。
- 学校だより、学年だより、学級だより等の広報活動を通して、学校生活の様子を伝え、教育活動への理解を得るよう努める。
- 不登校や発達障害等、指導が困難な事例の場合には、適切な生徒理解に基づき、保護者の理解を十分得ながら、必要に応じて関係機関とも連携する。
- 外部評価を導入し、評価結果をもとに教育活動の工夫改善を図るよう努める。

4 その他

- (1) 学校経営のすべての責任は校長にあるが、学校経営というのは校長と教頭だけがするものではない。全職員が学校経営に参画するのだという強い姿勢や意識を高く持ち、職員一丸となって統合4年目の東通中学校の教育を推進する。
- (2) 学習指導・生徒指導においては、「やって見せ、言って聞かせてやらせてみて、褒めてやらねば人は動かじ」（山本五十六）という言葉をもットーにして実践を積み重ねる。
- (3) 昨年度スタートした「学校生活そのものに目を向けた新たな視点に立つ校風づくり」への取り組みについて、今年度はより具体化させ、生徒と職員が一丸となって「目に見える形」での実践活動を積み上げ、充実した校風づくりを展開する。そのために、具体的な取り組みが確実に実践されるよう、生徒に対するきめ細かな指導と仕掛けづくりに努める。

- (4) 生徒会活動の活性化のために生徒会事務局の担当者並びに各種委員会の担当者は既存の活動内容にとらわれることなく、担当者自身の委員会活動にかかわる確固たるビジョンを描き、腹案を持って生徒への指導に当たり、活動を盛り上げるよう努める。
- その際、活動そのものが全校生徒に見えるような形にし、その都度必要に応じて活動方法を柔軟に改善していくよう心掛ける。
- また、全校生徒あるいは各学級の生徒に活動の経過が分かるよう、発信する場を意図的に設定するよう工夫する。
- (5) 24年度の「保幼園ひがしどおり」の開園及び保幼小中一貫教育のスタートに向け、保育・幼児教育についても三者合同による一般的な研修を推進するとともに、保幼園との連携の在り方について情報交換を深める。
- (6) 校舎内の至るところに花が飾られ、また、廊下や教室の壁に時節に合った生徒の動きがよくわかる掲示物や写真等が貼られ、そこで生活している生徒及び職員の温かさが感じられる学校環境をつくる。今年度は特に学校らしい学校をつくるために、最大限の努力をする。
- (7) 常に危機管理意識をもって物事を判断し、迅速な対応を心掛ける。そのためには、情報のパイプを詰まらせないようにする。いわゆる「報告・連絡・相談」である。また、適切な対応をするためには、この「報告・連絡・相談」の他に「確認」がどうしても必要である。一度対応してそのままということがないように、その後の状況を常に「確認」しながら、次々と対応していく心構えを持つ。
- (8) 教師である前に、社会人としての常識・マナーを身につけ、職業人として職務を遂行するよう努める。また、本校の服務規程及び交通安全規程を遵守し、教育公務員としての信用を失墜させることのないように襟を正す。

教育目標

知性を磨き、豊かな心を育み、自主自立を目指す生徒の育成

努力目標

進んで学習し、課題解決できる生徒

互いに思いやり、明るく生活できる生徒

心身を鍛え、ねばり強く取り組むことができる生徒



(平成21年度 文化祭合唱コンクール・全校合唱)



(平成20年度 日進タイム)

学校経営の基本姿勢

少人数学級の良さを生かした生徒一人一人を大切にする教育

学校経営の方針

- (1) 東通小との連携強化と東通学園構想に基づく義務教育9年間を見通した小中一貫教育の充実
- (2) 温かい人間関係づくりと生徒一人一人に応じたきめ細かな生徒指導の推進
- (3) 基礎的・基本的学習内容を身につけさせるための授業改善と確かな学力の定着
- (4) 保護者や地域社会から信頼される学校づくり
- (5) 教員の専門性や資質を高めるための計画的・実践的な研修
- (6) 職員の協働指導体制の確立と危機管理意識の高揚

学校経営の重点

授業の充実

- 指導のねらいの明確化と基礎的・基本的内容の定着
- 「わかる授業」と「主体的に学ぶ授業」の構築
- TTによる授業（数英）と日進タイム（習熟度別学習）の充実
- 自己表現力、コミュニケーション能力育成のための指導の工夫
- 学習状況調査等の結果分析・実態把握と保護者への情報提供
- 保健・安全・給食と関連させた授業の充実（保健体育）

生徒指導の充実

- 生徒と教師、生徒相互の温かい人間関係づくり
- 「足で稼ぐ生徒指導」と「愛情に裏打ちされた生徒指導」の推進
- 定期教育相談やチャンス相談の充実と受容的・共感的な生徒理解
- 指導方針や実践内容の明確化と協働指導体制の確立
- 各学年のめざす生徒像の明確化と指導の重点化
- 学校不適応生徒等への緻密で温かな対応と関係機関との連携



(平成22年度 自主公開発表) ◆数学の授業◆



(平成22年度 体育祭) ◆よさこいソーラン◆

道徳教育の充実

- 教科、特別活動、総合的な学習の時間との関連の重視
- 道徳性が実践される活動の場の設定
- 体験活動（ボランティア活動）等を生かした多様な指導法の工夫
- 教師と生徒、生徒相互の温かな交流を通しての道徳的心情、実践への意欲高揚
- 道徳教育推進委員会の設置と道徳教育の推進
- 保健・安全・給食と関連させた授業実践

特別活動の充実及びキャリア教育の推進

- 自主的・実践的な生徒会活動の推進
- 話し合い活動の充実と学級の諸問題解決のための意図的な場の設定
- 保健・安全・給食と関連させた学級活動の展開
- 主体的に進路選択できるような発達段階に応じた進路相談の充実
- キャリア教育の視点に立った望ましい勤労観・職業観の育成
- 「生きる力」を育成するための朝読書・合唱大会の継続実施と充実

健康・安全教育の充実

- 精神力・忍耐力・体力の向上を図る体育活動の充実
- 日常の健康観察による心身の健康状態の把握
- 日常の安全指導、校内外の安全点検の実施
- 生徒の安全確保と救急体制の確立
- 心・命・性・食の問題への積極的な取り組み
- 東通学園学校保健委員会の活動を通し、小学校・学校医・外部専門機関・保護者と連携した継続的な実践

総合的な学習の時間の充実

- めざす生徒像と育てる資質や能力の明確化
- 生徒の変容を確かめる評価の工夫
- 地域の素材を生かした東通科の授業の工夫
- 体験的学習と課題解決的な学習のバランスの取れた活動計画の作成
- 地域人材の積極的・効果的な活用
- 環境保全に取り組む態度の育成

特別支援教育の充実

- 全校体制のもとでの特別支援学級の運営
- 教育的ニーズに応じた支援体制の確立
- 校内特別支援教育推進委員会の機能の強化
- 各教科担任を含めた月1回の定期的な情報交換
- 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を要する生徒への支援体制の確立

研修の充実

- 学校課題の明確化
- 研修内容と授業実践の関連を図った学校課題の解決
- 生徒の変容を基にした研究仮説の検証
- 成果と課題の明確化
- 一人最低1回の教育機関での研修と伝達講習の実施
- 授業力向上のための校内研修計画に沿った授業実践

国際化・情報化に対応する教育の推進

- 郷土への関心、愛着誇りを涵養する教育の推進
- ALTの効果的な活用
- 英語による実践的コミュニケーション能力の育成
- コンピュータ等の情報機器の効果的な活用と情報収集能力・情報選択能力・情報活用能力の育成

家庭・地域・関係機関との連携

- 保護者との連携の強化
- さまざまな機会を通しての保護者及び地域の人たちとの積極的な関わりと協力体制の確立
- 学校・学年・学級通信等の発行
- 不登校や発達障害、または指導が困難な事例の場合、教育相談室、警察署等との連携の強化
- 外部評価の実施と結果の情報提供